

研究業績〈論文・解説・口頭発表事績・特許〉(2014.4～2015.3)

研究所員以外と共著の場合、*印は研究所員を示す。

K-16 一貫教育研究センター

幼児教育研究グループ

論文・解説

日本保育学会第 67 回大会 近畿ブロック (発表)

1. 岩田恵子 子どもがケアする世界をケアする①
—自閉傾向のある子どもと人的／モノ的かかわり—
2. 岩田恵子 子どもがケアする世界をケアする②
—自閉傾向のある子どもと人的／モノ的かかわり—
3. 宮崎豊 特別な支援が必要な子どもの保護者の保育指導に関する研究Ⅲ
—保育者の「揺らぎ」との関連から—
4. 田澤里喜 幼稚園児の姿勢に対する保護者の意識
5. 若月芳浩 障害のある子どもを包括する保育実践の方向を探る(29)
—子どもの視点から見た関係性—

論文・書籍等

1. 花輪充, 田澤里喜, 佐藤厚, 二木秀幸, 依田秀任, 渡辺美佐子, 飯田洋, 敷村一元 (2014) 「子どもの遊び場 (児童館等) における調査研究(1)」『東京家政大学博物館紀要』第 19 号 東京家政大学博物館
2. 若月芳浩, 岩田恵子編著 (2015) 保育・幼児教育シリーズ『人間関係の指導法』玉川大学出版部
3. 若月芳浩編著 (2014) 保育・幼児教育シリーズ『環境の指導法』玉川大学出版部
4. 大豆生田啓友編著 (2014) 保育・幼児教育シリーズ『言葉の指導法』玉川大学出版部
5. 宮崎豊, 田澤里喜編著 (2014) 保育・幼児教育シリーズ『健康の指導法』玉川大学出版部
6. 田澤里喜編著 (2014) 保育・幼児教育シリーズ『表現の指導法』玉川大学出版部
7. 宮崎豊 (2014) 「障がいのある子どもの事故予防について」『必携病児保育マニュアル vol. 2』帆足英一監修, 全国病児保育協議会
8. 宮崎豊 (2014) 「障がい児保育の方法」『障がい児保育の基礎』柴崎正行編著, わかば社
9. 宮崎豊 (2014) 「医療保育専門士の養成とその課題—資格取得者を対象とした質問紙調査より—」日本小児保健協会学術集会

その他 (公開講座講師等)

1. 若月芳浩 世田谷区幼稚園協会講演 「子どもの心を大切にされた保育」
2. 若月芳浩 宇和島市保育協議会講演 「保育所・幼稚園の重要な役割とは」
3. 田澤里喜 札幌市私立幼稚園協会第 1 回幼児教育セミナー 「保護者を理解する。保護者に伝える。」
4. 田澤里喜 川口市私立幼稚園協会夏期職員研修会 「遊びの中で育つもの」
5. 岩田恵子 子どもと保育実践研究会 2014 年度 夏期全国大会 分科会 「子どもがケアする世界をケアする～モノ的かかわりと人的かかわりの探究～」コーディネーター
6. 岩田恵子 子どもと保育実践研究会 2014 年度 冬季セミナー シンポジウム 「子どもが子どもである保育をつくっていく挑戦～これまでの園の文化を継承しつつ, 変わること～」コーディネーター
7. 宮崎豊 千葉県幼稚園協会講演 「子どもの育ちを分かち合う眼 ～保育記録と保護者支援～」
8. 宮崎豊 さいたま市子ども未来局保育部保育課講演 「障がい児とともに育つ保育の実践」

小学校英語研究グループ

書籍

1. Lia, Steve, Susumu Kusano (2014) CD付コミュニケーションのためのやり直し英文法 (50 Grammar Keys to Communication), IBC Publishing.
2. 佐藤久美子, Steve Lia (2014) NHK ラジオ 「基礎英語3」 5月号テキスト NHK 出版
3. 佐藤久美子, Steve Lia (2014) NHK ラジオ 「基礎英語3」 6月号テキスト NHK 出版
4. 佐藤久美子, Steve Lia (2014) NHK ラジオ 「基礎英語3」 7月号テキスト NHK 出版
5. 佐藤久美子, Steve Lia (2014) NHK ラジオ 「基礎英語3」 8月号テキスト NHK 出版
6. 佐藤久美子, Steve Lia (2014) NHK ラジオ 「基礎英語3」 9月号テキスト NHK 出版
7. 佐藤久美子, Steve Lia (2014) NHK ラジオ 「基礎英語3」 10月号テキスト NHK 出版
8. 佐藤久美子, Steve Lia (2014) NHK ラジオ 「基礎英語3」 11月号テキスト NHK 出版
9. 佐藤久美子, Steve Lia (2014) NHK ラジオ 「基礎英語3」 12月号テキスト NHK 出版
10. 佐藤久美子, Steve Lia (2015) NHK ラジオ 「基礎英語3」 1月号テキスト NHK 出版
11. 佐藤久美子, Steve Lia (2014) NHK ラジオ 「基礎英語3」 2月号テキスト NHK 出版
12. 佐藤久美子, Steve Lia (2014) NHK ラジオ 「基礎英語3」 3月号テキスト NHK 出版

論文

1. Lia, Steve (2013) Discussing and Debating Controversial Issues in English: A framework for a Japanese university seminar — The Journal of the College of Arts & Sciences 玉川大学

学会発表

1. 佐藤久美子*, 島村雄一郎 (2014) 「音の出るペン・絵本を用いた小学校における英語授業デザイン」 情報教育シセテム学会 (於: 和歌山大学)
2. 佐藤久美子*, 島村雄一郎 (2014) 「子どもが自ら話したくなる必然性のある授業実践」 日本児童英語教育学会 (JASTEC) 第34回秋季研究大会 (於: 大阪成蹊大学)
3. 佐藤久美子*, 島村雄一郎 (2014) 「実践の往還を推進する玉川大学教職大学院の授業デザイン」 平成26年度日本教職大学院協会「実践研究成果公開フォーラム」 (於: 東京工業大学)
4. 棒田亜耶花, 佐藤久美子* 「記憶研究を基盤とした語彙学習方法」 日本英語教育学会 (於: 早稲田大学)
5. 澁井とし子 (2014) 「HRT, JTE, ALTで行う小中連携を考慮した授業の試み—埼玉県さいたま市立S小学校の授業実践報告より」 日本児童英語教育学会 (JASTEC) 第34回秋季研究大会 (於: 大阪成蹊大学)

雑誌

1. 佐藤久美子 (2015) 「0歳からの英語は「発音」と「慣れ」がポイント」 宝島社『0歳から始める教育』別冊宝島
2. 佐藤久美子 (2015) 「英語学習は何歳から始めればいいのか?」 プレジデント社『プレジデント Family』
3. 佐藤久美子 (2015) 「外国語のチカラ: 子どもの語彙力を高める親の話し方」 日経BP社『日経 KidsPlus』
4. 佐藤久美子 (2015) 「子どもは、いかに日本語や英語の「言葉」を獲得していくのか」 ぴえじえーる第5号 幼年教育出版株式会社

講演

1. 佐藤久美子 (2014) 「絵本を用いた活動の実際」 7月24日・25日 平成26年度京都府小学校外国語活動研修会, 京都府教育委員会主催
2. 佐藤久美子 (2014) 「必然的な場面を用いた外国語活動」 平成26年度葛飾区小学校外国語活動研修会, 葛飾区教育委員会主催

3. 佐藤久美子 (2014) 「必然的な場面を活用する小学校英語」平成 26 年度平塚市外国語研究部主催
4. 佐藤久美子 (2015) 「小中一貫英語教育」神奈川県私学中高協会研究会主催

TV 出演

1. 佐藤久美子 (2014) 「小学校英語活動」NHK E テレ「エデュカチオ」

日本語教育

著書

1. 中田幸司 (2014) 「古典芸能への誘い」東京書籍編, 高等学校国語科検定教科書指導資料 (単著)
2. 永井悦子*, 宮田聖子*, 坂本まり子 (2014) 『玉川大学日本語短期研修テキスト シンガポール国立大学』玉川大学リベラルアーツ学部 (教材作成)
3. 永井悦子*, 宮田聖子*, 坂本まり子 (2014) 『玉川大学日本語短期研修テキスト 淡江大学』玉川大学リベラルアーツ学部 (教材作成)
4. 永井悦子 (2014) 『玉川大学リベラルアーツ学部日本語教育実習報告書』玉川大学リベラルアーツ学部 (編集)
5. 永井悦子 (2014) 「学校文法における活用形の用法」『学校文法講座』第 3 巻 明治書院 (単著)
6. 田代ひとみ, 宮田聖子*, 荒巻朋子 (2014) 『新完全マスター 読解 日本語能力試験 N3』スリーエーネットワーク
7. 宮田聖子*, 遠藤裕子, 渡辺陽子, 大矢恵美 (2014) 「テレビ会議システムを利用した日本語授業の可能性—そのメディア特性を活かした方策として—」『玉川大学学術研究所紀要第 20 号』玉川大学学術研究所

ミツバチ科学研究センター

書籍

1. 小野正人 (2015) アシナガバチ類『工場における“虫”侵入・発生防止対策 (上村清監修)』技術情報協会, pp.143-146. 分担執筆

原著論文 (査読付き)

1. Harano K.*, Mitsuhashi-Asai A. and Sasaki M.* (2014) Honey loading for pollen collection: regulation of crop content in honeybee pollen foragers on leaving hive. *Naturwissenschaften* 101: 595-598
2. Matsuyama S., Nagao T. and Sasaki K.* (2015) Consumption of tyrosine in royal jelly increases brain levels of dopamine and tyramine and promotes transition from normal to reproductive workers in queenless honey bee colonies. *General and Comparative Endocrinology*, 211: 1-8, DOI: 10.1016/j.ygcen. 2014.11.005
3. Okada Y., Sasaki K.*, Miyazaki S., Shimoji H. Tsuji K. and Miura T. (2015) Social dominance and reproductive differentiation mediated by the dopaminergic signaling in a queenless ant. *The Journal of Experimental Biology*, 218: 1091-1098, DOI: 10.1242/jeb.118414

解説

1. 浅田真一 (2014) ミツバチをうまく使っていますか. 農業いばらき 9月号.
2. 中村佳子, 中村純* (2014) 新しいノゼマ病—微胞子虫 *Nosema ceranae* とセイヨウミツバチ. ミツバチ科学 29: 19-32.
3. 佐々木謙*, 巢籠瑛, 内山博充, 矢嶋俊介 (2015) モンシロチョウの雌による交尾拒否行動発現の分子機構の解明. NGRC ニュースレター, 6: 39
4. 木村澄, 佐々木正己*, 浅田真一*, 横井智之, 井出秀男 (2015) ポリネーター利用実態等調査報告書. (一社) 日本養蜂協会.

5. 小野正人 (2015) 授粉昆虫マルハナバチの利用技術—過去, 現在, そして未来 (夢). 農学アカデミー会報 24 : 43-54.

学術・一般発表・講演

1. Sakamoto H., Ogata N. and Sasaki T.* (2014) Epigenetics of brain development in workers of the European honeybee, *Apis mellifera*. The 17th International Congress of International Union for the Study of Social Insects, July 13-18, Cairns, Australia.
2. 坂本洋典, 緒方法親, 佐々木哲彦* (2014) 「セイヨウミツバチ働きバチの脳における DNA メチル化解析」日本応用動物昆虫学会第 58 回大会 (2014 年 3 月 26-28 日 (発表 27 日), 高知大学, 高知)
3. Hayashi M., Ono M. *, and Harano K. * (2014) Do dance followers obtain quality information about food sources from the pollen loads size in *Apis mellifera*? 12th Asian Apicultural Association Conference, Apr. 24-27, 2014. Antalya, Turkey.
4. Harano K. *, Mitsuata-Asai A. and Sasaki M. * (2014) Honeybee foragers adjust crop contents before leaving the hive. International Union for the Study of Social Insects International Congress, July 13-18, 2014. Cairns, Australia.
5. 原野健一*, 林雅貴, 中村純* (2014) ミツバチの採餌蜂は燃料として持ち出す蜜を選んでいる. 日本動物行動学会第 33 回大会. (2014 年 11 月 1-3 日, 長崎大学, 長崎)
6. 林雅貴, 原野健一*, 中村純*, 佐々木謙* (2014) ミツバチのオス蜂はどこから出巢蜜を補給するのか? 日本動物行動学会第 33 回大会. (2014 年 11 月 1-3 日, 長崎大学, 長崎)
7. 細野翔平, 原野健一*, 小野正人* (2014) セイヨウミツバチにおける採餌距離に応じたダンス追従回数の調節. 日本動物行動学会第 33 回大会. (2014 年 11 月 1-3 日, 長崎大学, 長崎)
8. 原野健一*, 林雅貴, 佐々木正己* (2014) ミツバチの採餌蜂が巣から持ち出す花粉団子作成用の蜜. 日本昆虫学会関東支部第 51 回大会. (2014 年 12 月 6 日, 東京農業大学厚木キャンパス, 神奈川)
9. Sasaki K. *, Matsuyama S., Nagao T. (2014) Regulation of brain dopamine by nutrition in female honeybees. International Congress of IUSSI 2014, July 13-18, Cairns, Australia.
10. Koyama S., Matsui S., Satoh T., Sasaki K. * (2014) Octopamine regulates social behaviors between genetically unrelated ant queens. International Congress of IUSSI 2014, July 13-18, Cairns, Australia.
11. Sasaki K. *, Matsuyama S., Nagao T. (2014) Nutritional regulation of the brain levels of dopamine and tyramine to promote the transition from normal to reproductive workers in queenless colonies of honey bees. 11th International Congress of Neuroethology, July 28-Aug. 1, Sapporo, Japan.
12. Ishikawa Y., Aonuma H., Sasaki K. *, Miura T. (2014) Neurophysiological mechanisms underlying the defensive task allocation in termites. 11th International Congress of Neuroethology, July 28-Aug. 1, Sapporo, Japan.
13. 佐々木謙*, 巢籠瑛, 増田俊雄, 小原嘉明 (2014) モンシロチョウの未交尾雌におけるセロトニンによる交尾拒否姿勢の誘発. 日本進化学会第 16 回大会 (2014 年 8 月 21-24 日, 高槻現代劇場, 大阪)
14. 井上享也, 矢口甫, 佐々木謙*, 前川清人 (2014) ネバダシロアリの初期巣の兵隊分化における生体アミンの機能解析及び関連遺伝子の発現解析. 日本動物学会第 85 回大会 (2014 年 9 月 11-13 日, 東北大学, 宮城)
15. 佐々木謙 (2014) ミツバチワーカーと雄のチロシン摂取による脳内ドーパミン量への影響. 日本動物行動学会第 33 回大会 (2014 年 11 月 1-3 日, 長崎大学, 長崎)
16. 林雅貴, 原野健一*, 中村純*, 佐々木謙* (2014) ミツバチのオス蜂はどこから出巢蜜を補給するのか? 日本動物行動学会第 33 回大会 (2014 年 11 月 1-3 日, 長崎大学, 長崎)
17. 松島啓将, 目澤龍介, 佐々木謙* (2014) ミツバチ雄の幼若ホルモン類似物質による脳内ドーパミン合成酵素への作用. 日本動物行動学会第 33 回大会 (2014 年 11 月 1-3 日, 長崎大学, 長崎)
18. 井上享也, 矢口甫, 佐々木謙*, 前川清人 (2014) ドーパミンはネバダオシロアリの職蟻の行動を制御することで兵隊分化に影響を及ぼす. 日本動物学会中部支部会 (2014 年 11 月 22-24 日, のと勤労者プラザ, 石川) 一本発

表は最優秀発表賞を受賞した

19. 中村純 (2014) ミツバチの生態と健康管理. 平成 26 年度広島県家畜衛生職員研修会 (2014 年 12 月 13 日, 広島県総合体育館, 広島)
20. 中村純 (2014) ミツバチとネオニコチノイド系農薬問題の解決はどこに向かうか. 東京農業大学総合研究所農薬部会第 96 回セミナー (2014 年 12 月 5 日, 東京農業大学グリーンアカデミー, 東京)
21. 中村純 (2014) ミツバチはホントに減っている? 不幸なミツバチを減らそう!. d-labo セミナー (2014 年 10 月 30 日, d-labo ミッドタウン, 東京)
22. 中村純 (2014) ミツバチの社会はどう成り立っているのか. 8ちゃんねるオフ会 (2014 年 9 月 14 日, 西条国際ホテル, 愛媛)
23. 中村純 (2014) イチゴ栽培に不可欠なミツバチ—不足を防ぐためには?—. 第二回松阪明和地区養蜂等振興推進協議会情報共有会議 (2014 年 9 月 30 日, ワークセンター松阪労働者総合福祉センター, 三重)
24. 中村純 (2014) わたしたちとミツバチ. 玉川大学・玉川学園学友会静岡中部支部「2014 年玉川夏のゆうべ」(2014 年 7 月 12 日, ホテルセンチュリー静岡, 静岡)
25. 細野翔平, 中村純*, 小野正人* (2015) セイヨウミツバチにおけるスズメバチ類への蜂球形成と防衛行動. 日本応用動物昆虫学会第 59 回大会. (2015 年 3 月 26-28 日, 山形大学, 山形)
26. 原野健一*, 林雅貴, 中村純* (2015) ミツバチの採餌蜂は燃料として高濃度のハチミツを利用しているか? 日本応用動物昆虫学会第 59 回大会. (2015 年 3 月 26-28 日, 山形大学, 山形)
27. 林雅貴, 原野健一*, 中村純* (2015) セイヨウミツバチはダンスで伝達された餌場の質に応じて行動を変化させる. 日本応用動物昆虫学会第 59 回大会. (2015 年 3 月 26-28 日, 山形大学, 山形)
28. 佐々木謙 (2015) ミツバチの繁殖を促進させる内分泌機構とその性差. 第 4 回ミツバチシンポジウム, (2015 年 2 月 20 日, 兵庫県立大学, 兵庫)
29. 佐々木謙 (2015) 社会性昆虫の脳内ドーパミン調節機構と繁殖促進. 第 4 回脳科学研究所リトリート, (2015 年 2 月 25-27 日, 箱根湯本富士屋ホテル, 神奈川)
30. Farkhary S.I., Sasaki K. *, Koyama S., Satoh T. (2015) The effect of dopamine on fighting behavior of honey bee virgin queens. 日本応用動物昆虫学会第 59 回大会 (2015 年 3 月, 山形大学, 山形)
31. 中村純 (2015) ミツバチは有能な花粉媒介者か. 関東種苗生産協議会 (2015 年 1 月 16 日, あすか会議室, 東京)
32. 中村純 (2015) ミツバチという生き方~ミツバチ社会の仕組み. 平成 26 年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会 日本獣医公衆衛生学会市民公開シンポジウム「家畜としてのミツバチとその効用」(2015 年 2 月 15 日, 岡山県コンベンションセンター・コンベンションホール, 岡山)
33. 中村純 (2015) ネオニコチノイド系農薬の使用規制でミツバチを救えるか. 日本農薬学会第 40 回大会特別講演 (2015 年 3 月 20 日, 玉川学園講堂, 東京)
34. 中村純 (2015) 農薬や病気からミツバチをどう守るか. ハヶ岳南麓日本みつばちの会. (2015 年 3 月 21 日, 大泉総合支所, 山梨)
35. Matsuyama H. and Ono M. * (2014) Impact of social parasitism on colony development of *Bombus ignitus*, International Union for the Study of Social Insects 2014, July 13-18, Cairns Convention Centre, Cairns
36. 松山日名子, 小野正人* (2014) 社会寄生がクロマルハナバチのコロニー発達へ及ぼす影響—実験室内での検証. 日本応用動物昆虫学会第 58 回大会 (2014 年 3 月 26-28 日, 高知大学, 高知)
37. Ugajin A., Kunieda T., Ono M. * and Kubo T. (2014) Identification and characterization of an Egr ortholog in the European honeybee (*Apis mellifera* L.) as a conserved neural IEG in insects and vertebrates. 7th International Symposium on Molecular Insect Science July 13-16, Amsterdam, The Netherlands
38. Ugajin A., Kunieda T., Ono M. * and Kubo T. (2014) Analysis of high-temperature sensitive neural activity in the brains of honeybee workers using immediate early genes. 11th International Congress of Neuroethology July 28-Aug. 1, Sapporo, Japan

39. 宇賀神篤, 佐々木哲彦*, 小野正人* (2015) クロヤマアリ帰巣個体における初期応答遺伝子を利用した脳内神経活動の解析. 日本応用動物昆虫学会第 59 回大会 (2015 年 3 月 26-28 日, 山形大学小白川キャンパス, 山形)
40. 宇賀神篤, 松尾晃史朗, 久保良平*, 佐々木哲彦*, 小野正人* (2015) クロマルハナバチのジナンドロモルフに関する解析. 日本動物学会第 86 回大会 (2015 年 9 月 17-19, 朱鷺メッセ, 新潟)
41. Ugajin A., Uchiyama H., Miyata T., Sasaki T. *, Yajima S. and Ono M. * (2015) Identification and characterization of a novel immediate early gene encoding a serine/threonine protein kinase in honeybee. 第 38 回日本分子生物学会年会, 第 88 回日本生化学会大会 合同大会 (2015 年 12 月 1-4 日, 神戸ポートアイランド, 兵庫)
42. 久保良平*, 小野正人* (2015) 同所性マルハナバチの雄蜂が頭部下唇腺で生産する香りの機能解析. 日本応用動物昆虫学会第 59 回大会 (2015 年 3 月 26-28 日, 山形大学小白川キャンパス, 山形)
43. 松山日名子, 小野正人* (2015) 実験室内におけるクロマルハナバチの巣の引継ぎがコロニー発達へ及ぼす影響. 日本応用動物昆虫学会第 59 回大会 (2015 年 3 月 26-28 日, 山形大学, 山形)
44. 松山日名子, 小野正人* (2015) 巣の引き継ぎがクロマルハナバチのコロニー成長に与える効果—実験条件下での検証—. 日本昆虫学会関東支部大会第 52 回大会 (2015 年 12 月 5 日, 玉川大学, 東京)
45. 服部充, 小野正人*, 市野隆雄 (2015) 真社会性アブラムシ, ササコナフキツノアブラムシにおける表現型と相関した防衛能力の集団間変異, 第 52 回日本昆虫学会関東支部大会 (2015 年 12 月 5 日, 玉川大学, 東京).
46. 山口悠太, 小野正人* (2015) 「熱殺蜂球」への参加がニホンミツバチ働きバチの寿命へ与える影響. 日本応用動物昆虫学会第 59 回大会 (2015 年 3 月 26-28 日, 山形大学, 山形)
47. 山口悠太, 小野正人* (2015) ニホンミツバチにおける熱殺蜂球によって生じるコスト軽減戦略. 日本昆虫学会関東支部第 52 回大会 (2015 年 12 月 5 日, 玉川大学, 東京)
48. 宇賀神 篤, 山口悠太, 細野翔平, 小野正人* (2015) ニホンミツバチ「熱殺蜂球形成」を多様な視点で捉えてみると—神経科学的アプローチから, コストの検討, セイヨウミツバチとの比較まで—. 生態適応セミナー (2015 年 12 月 11 日, 東北大学, 宮城)
49. 西村正和, 小野正人* (2015) 都市環境に適応したキイロスズメバチの繁殖戦略. 日本昆虫学会関東支部第 52 回大会 (2015 年 12 月 5 日, 玉川大学, 東京)
50. 小野正人 (2015) 香りの言葉で集団防衛～社会性ハチ類のスマート戦術. 日本学術会議行動生物学サイエンスカフェ 2015 (2015 年 11 月 22 日, 東京大学駒場キャンパス, 東京)

生物機能開発研究センター

論文・解説

1. 大嶋泰平, 大橋 (兼子) 敬子*, 大野英一*, 渡邊博之*. (2015) レッドリーフレタス生産に適した赤色と青色発光ダイオードの光混合条件の検討, 27(1), 24-31.
2. Taro Fukuyama, Keiko Ohashi-Kaneko*, Hiroyuki Watanabe*. (2015) Estimation of optimal red light intensity for production of the pharmaceutical drug components, vindoline and catharanthine, contained in *Catharanthus roseus* (L.) G. Don. *Environ Control Biol.* 53(4), 217-220
3. Hitohide Usami*, Yasuhiko Manabe, Akira Nakai, Shigeo Kawata (2014) A Data-Intensive System for Plant Cultivation in Closed Type Plant Factory, DISD2013, 上海大学出版, 1-6
4. Yasuhiko Manabe, Hitohide Usami*, Shigeo Kawata (2014) Plant Growth Detection in a Plant Factory, DISD2013, 上海大学出版, 124-129
5. Shigeo Kawata, Takashi Ishihara, Daisuke Barada, Wu Zhang, Jiang Xie, Huiran Zhang, Dongbo Dai, Yasuhiko Manabe, Yoshikazu Hayase, Hitohide Usami*, Takayuki Teramoto, Masami Matsumoto (2014) Uncertainty Inference for Scientific Computation, DISD2013, 上海大学出版, 176-182
6. Shigeo Kawata, Takashi Ishihara, Daisuke Barada, Jiang Xie, Huiran Zhang, Dombro Dai, Yasuhiko Manabe Yoshikazu Hayase, Hitohide Usami*, Takayuki Teramoto, and Masami Matsumoto (2014) Uncertainty Management in Numerical

Computation, International Journal of Numerical Analysis and Modeling, Volume 1, Number 1, 1-10

7. 水野宗衛 (2014) 最新農業技術 果樹 vol7. 農文協, 61-84

学会発表 (口頭発表およびポスター発表)・講演

1. 福山太郎, 大橋 (兼子) 敬子*, 平田収正, 原田和生, 村岡未彩, 渡邊博之* (2014) 二段階光質制御法によるニチニチソウ抗ガン剤成分蓄積量の解析. 日本生物環境工学会 2014 年大会, 東京
2. 小林優香, 大橋敬子*, 大野英一*, 渡邊博之* (2014) 赤色, 青色 LED 光が赤シソ, 青シソの生育と芳香成分に与える影響. 園芸学会 2014 年春季大会, 茨城
3. Ohashi-Kaneko, K.*, Fukuyama, T., Ono, E.*, Watanabe, H.* (2014): Determination of the optimal light quality condition for improving growth and alkaloid yields of *Catharanthus roseus*. The 29th International Horticultural Congress/Sustaining Lives, Livelihoods and Landscapes, Brisbane, Australia
4. Okuyama, T., Ohashi-Kaneko, K*., Watanabe, H.* (2014): Photosynthetic characteristics of tomato cv. Micro-Tom grown under low light intensity. The 29th International Horticultural Congress/Sustaining Lives, Livelihoods and Landscapes, Brisbane, Australia
5. Watanabe, H.*, Kobayashi, Y., Abe, K., Ogawa, E., Hatakeyama, N., Ohashi-Kaneko, K*., Ono, E., Arai, M. (2014): Effects of different light quality by LEDs on growth and essential oil contents in four aromatic herb species. The 29th International Horticultural Congress/Sustaining Lives, Livelihoods and Landscapes, Brisbane, Australia
6. 眞鍋保彦, 宇佐見仁英*, 川田重夫 (2014) 植物工場における生長不良個体の検出, F-11-11, 第 19 回計算工学講演会, 広島国際会議場
7. 宇佐見仁英*, 眞鍋保彦, 川田重夫 (2014) 植物工場における栽培管理のための知的問題解決環境, F-11-12, 第 19 回計算工学講演会, 広島国際会議場
8. 佐藤佑哉, 根岸宣明, 眞鍋保彦, 宇佐見仁英*, 川田重夫, 前田太陽 (2014) 植物形状データ収集のための問題解決環境の開発, F-11-13, 第 19 回計算工学講演会, 広島国際会議場
9. 宇佐見仁英*, 布施政好*, 荒井みち代*, 渡邊博之*, 本田三男, 佐藤啓二, 村井雄三 (2014) 植物工場 LED 照明システムへの等電圧分配 (EVD) 方式電源の適用, 日本生物環境工学会, 明治大学, 80-81 (B9)
10. 宇佐見仁英*, 眞鍋保彦, 前田太陽, 川田重夫 (2014) 植物の形態形成にみられる言語構造に関する一考察, The 17th PSE Workshop'14, 帝塚山大学, 13-16
11. 眞鍋保彦, 宇佐見仁英*, 川田重夫 (2014) 植物の生長不良検出のための問題解決環境, The 17th PSE Workshop'14, 帝塚山大学, 17-20
12. 宇佐見仁英 (2014) 植物工場の現状と課題, PSE 研究会, 埼玉大学
13. 中村咲貴, 西尾貴史, 寺田千里, 渡邊博之*, 葉袋裕二*, 佐藤一臣 (2015) 可視単色光によるアポトーシス誘導メカニズムの解明, 日本農芸化学会 2015 年度大会, 岡山大学
14. 吉村義隆*, 西川彰人, 香田亮, 青木耕平, 市瀬悠, 本多元, 村野由佳, 横堀伸一, 山岸明彦. (2015) 火星での細胞検出用生命探査顕微鏡のための蛍光染色法の開発状況. 第 15 回宇宙科学シンポジウム. JAXA 相模原キャンパス
15. Victoria Shcherbakova, Yoshitaka Yoshimura*, Yukihiro Taguchi, Takahiro Segawa, Victoria Oshurkova and Elizaveta Rivkina (2014) Archaeal communities of Arctic permafrost: an unexpected diversity. 10th International Congress on Extremophiles, Saint Petersburg, Russia
16. Yoshitaka Yoshimura*, Sachiya Obata, Ayumi Takeuchi, Victoria Shcherbakova, Yuichi Hanada, Tamotsu Hoshino, Sakae Tsuda, Hidemasa Kondo (2014) Antifreeze activities of an anaerobic bacterium isolated from permafrost. 2nd Ice-Binding Protein Conference. Sapporo, Japan
17. 宮田徹*, 須山勝光, 白木裕夏, 石井由実恵 (2015) 離乳期ラットの摂食変化が脳幹カテコールアミンニューロンの活動に及ぼす影響. 日本農芸化学会 2015 年大会, 岡山

人文科学研究センター

論文

1. 岡本裕一郎 (2015) 「新たな人文科学を求めて」『Humanitas』玉川大学学術研究所人文科学研究センター年報. 第6号. pp. 1-11
2. 太田明 (2014) 「UNESCO と哲学教育」, 『教育文化政策研究』第3号. pp. 59-70
3. 太田明 (2015) 「レオナルド・ネルゾンと〈理性の自己信頼〉(1)」, 『論叢』, 第55号. pp. 103-130
4. 太田明 (2015) 「批判的思考・ソクラテスの対話・ICT」『Humanitas』玉川大学人文科学研究センター年報. 第6号. pp. 12-22
5. 太田明 (2015) 「マシュー・リップマンと〈子どものための哲学〉」, 『ハルシオン』, 第5号. pp. 26-34
6. 山口意友 (2015) 「修身と道德教育(4)」『Humanitas』玉川大学学術研究所人文科学研究センター年報. 第6号. pp. 30-38
7. 有源探ジェラード (2014), 「絶縁の文化 —つながりと断絶の間—」, 『Humanitas』玉川大学学術研究所人文科学研究センター年報. 第6号. pp. 39-46
8. 林大悟 (2015) 「ウィトゲンシュタインにおける要素命題の相互独立性の放棄(1) —『論理形式について』—」, 『Humanitas』玉川大学学術研究所人文科学研究センター年報. 第6号. pp. 47-56
9. 徳安敦, 松尾麻紀, 渡部明*, 田中美江 (2014) 「創立者福田昌子のことばから導き出される純真短期大学こども学科の教育」, 純真紀要 55号, pp. 19-32
10. 松尾麻紀, 徳安敦, 渡部明*, 田中美江 (2014) 「福田昌子のことばに関する研究」, 純真紀要 55号, pp. 33-41
11. 加藤悦子 「美術館教育における美術館と中学校の連携—イザベラ・スチュアート・ガードナー美術館 及びサントリ—美術館, 森美術館の事例報告—」(共)「全国大学博物館学講座協議会 紀要」7 (全国大学博物館学講座協議会 2015年3月)
12. 加藤悦子 「ピーター・ドラッカーの日本美術コレクション形成—その知覚した『日本論』解釈の試み—」(単)『Humanitas』玉川大学学術研究所人文科学研究センター年報. 第6号. pp. 57-75
13. 林卓行 (2014) 「局所化されたミニマル・アート」, 『美術フォーラム 21』30号, pp. 89-96
14. 中村聡 (2015.1.25) 最後の排耶書「防邪訓」の意味するもの 『東洋研究』(大東文化大学東洋研究所) 第195号, pp. (77)-(93)
15. 原田眞理 (2015) 「福島県からの避難者支援活動—交流会の特徴」『Humanitas』玉川大学学術研究所人文科学研究センター年報. 第6号. pp. 94-101
16. 大倉健太郎 (2015) 「『生—権力』からみた救済の対象としての子ども—アメリカ教育改革を事例に—」, 『Humanitas』玉川大学学術研究所人文科学研究センター年報. 第6号. pp. 102-112
17. 小田切紀子・宇井美代子*・Jade Aguiar・劉亨淑 (2014) 「離婚に対する態度の国際比較—日・米・韓の大学生を対象として—」, 『臨床心理学研究』東京国際大学大学院臨床心理学研究科, 12, pp. 27-41

著書

1. 岡本裕一郎 (2015) 『フランス現代思想史—構造主義からデリダ以後まで』272頁, 中公新書, 中央公論新社
2. 山口意友 (2015) 「第1章第2節 教育理念としての人格の完成」20~34頁, 「第6章第4節 カント「教育学」」170~175頁, 佐久間裕之編著『教育原理』(分担執筆), 玉川大学出版部
3. 小田部進一 (2014) 「ルターとクリスマス」80~81頁, 『よくわかるクリスマス』(嶺重淑, 波部雄一郎編) 教文館, 分担執筆
4. 中村聡 (2015) 『宣教師たちの東アジア—日本と中国の近代化とプロテスタント伝道書』 勉誠出版
5. 宮本聡介・宇井美代子* (編) (2014) 第1章 「質問紙調査とは何か」2~17頁, 『質問紙調査と心理測定尺度—計画から実施・解析まで—』サイエンス社

解 説

1. 林卓行 (2015) 「ふたりの大きな眼」映画『ビッグ・アイズ』パンフレットおよび公式ウェブサイト unpagged.

批 評

1. 小田部進一 (2014) 「ミュンヘンから見たドイツとユダヤ人問題」, 『さんいつ』 (日本キリスト教団三・一教会会報), 6号, 2014年10月
2. 小田部進一 (2015) 「ドイツの民主主義を支えるデモ」, 『さんいつ』 (日本キリスト教団三・一教会会報), 7号, 2015年3月
3. 大倉健太郎 「『持続可能性』という見方」 『週刊教育 PRO』 No. 6, 2014年3月4日, pp. 4-5
4. 大倉健太郎 「ベーシック・インカム論」 『週刊教育 PRO』 No. 10, 2014年5月6日, pp. 4-5
5. 大倉健太郎 「『犯人捜し』の社会」 『週刊教育 PRO』 No. 15, 2014年9月2日, pp. 4-5
6. 大倉健太郎 「災害後のコミュニティ復興と教育の役割」 『週刊教育 PRO』 No. 19, 2014年9月2日, pp. 4-5
7. 大倉健太郎 「教育イノベーション」 『週刊教育 PRO』 No. 24, 2014年11月4日, pp. 4-5

研究ノート

エッセイ

1. 原田眞理 (2015) 玉川通信「ひととのつながり」
2. 原田眞理 (2014) 玉川大学教育学研究科コラム「こころの傷について」
Vol. 1 避難生活が継続した状況における支援
Vol. 2 学校場面でみられるこころの傷—震災関係
Vol. 3 対象喪失
Vol. 4 こころの傷—教員の対応について
3. 原田眞理 (2014) 玉川っ子「アンガーマネジメント」

講 演

1. 渡部明「情報化社会と倫理について考えよう」(2014年2月1日)福岡市南区出前講座(やまもも会館)
2. 林卓行+福居伸宏, トークイベント「アンソニー・カロ再論 —テーブルピースからテーブルトークへ—」(2014年9月6日) Art Center Ongoing 吉祥寺, 東京
3. 大倉健太郎「地域の復興と持続可能性を考える: 3.11と海外の事例を通して見える教育の課題」, 主催帝塚山学院大学国際理解研究所, (公財)大阪狭山市文化振興事業財団, (2015年2月14日)大阪狭山市文化会館 SAYAKA ホール

講 師

1. 林大悟 (2014.7.8) 「脳死・臓器移植と人体の資源化」玉川大学文学部人間学科高大連携授業(玉川学園高学年校舎)
2. 原田眞理 (2014.6.29) 福島事業 事例検討会(東京臨床心理士会主催 小山ビル)
3. 原田眞理 (2014.11.21) 福島事業シェアリングの会(東京臨床心理士会主催 小山ビル)
4. 原田眞理 (2015.1.18) 「福島県心のケア事業」説明・研修会(東京臨床心理士会主催 機山館)

シンポジウム

1. 太田明 (2014) 「〈居場所〉がないとはどういうことか—承認をめぐる闘争と病」, 総合人間学会第9回大会シンポジウム(2014年6月8日, 東京医科大学)
2. 増井秀樹(企画代表)・宇井美代子*(企画・司会)・荘島幸子(話題提供)・草柳和之(話題提供)・神前裕子(話題提供)・村本邦子(指定討論)・櫻坂英子(指定討論)(2014)「心理学実践におけるジェンダー」日本心理学会第

78 回大会

発表（口頭）

1. 太田明（2014）“Improvement of Critical Thinking through Socratic Dialogue and ICT”, Colloque International Education et Formation: Enjeux pour le Développement Humain: at Muhammad V University in Rabat, Morocco, 2014. 04. 25
2. 太田明（2015）「マシュー・リップマンと〈子どものための哲学〉」, 世界子ども学研究会第 10 回研究例会, 神戸女子大学, 2015 年 3 月 26 日
3. 林大悟*・浅田淳一・新名隆志・田村公江・鈴井江三子・中塚幹也・比名朋子・中井祐一郎・下屋浩一（2014）「出生前診断による選択的人工妊娠中絶に対する一般市民意識の検討」, 第 55 回日本母性衛生学会総会・学術集会, 於幕張メッセ, 2014 年 9 月 13 日
4. 林大悟*・岡本裕一朗*・茅島路子・宮崎真由*（2014）「人間学科における教員の資質能力向上を目的とする社会科・公民科教員養成カリキュラムマップ・指導体制の分析及び再構築」, 玉川大学 RD（Research Development）2013 年度共同研究成果発表会, 於玉川大学, 2014 年 8 月 19 日
5. 加藤悦子：美術館教育における美術館と中学校の連携—イザベラ・スチュアート・ガードナー美術館及びサントリ—美術館, 森美術館の事例報告一, 平成 26 年度全国大学博物館学講座協議会東日本部会大会, 於女子美術大学, 2014 年 10 月 17 日
6. 中村聡（2015）漢訳西洋科学書の伝来と日本の科学教育 白山中国学会第 8 回発表大会, 2015 年 3 月 21 日
7. 原田真理：治療者のセクシャリティを考える～特に女性であることについて 日本精神分析学会第 60 回大会 教育研修セミナー（福岡, 国際会議場）2014.10
8. 原田真理：女性セラピストと精神分析的な心理療法（その 2）—罪悪感— 日本心理臨床学会第 33 回大会自主シンポジウム（横浜, 国際会議場）2014.8
9. 原田真理：発達障害にみえる防衛機制を使う一女性の精神分析的な心理療法の過程 日本臨床心理士資格認定協会認定グループ第三土曜会（上智大学）2014.11
10. 大倉健太郎（共同）「災害後のコミュニティの復興と教育の役割」日本比較教育学会第 43 回大会（於名古屋大学）, 2014 年 7 月
11. 茅島路子・宇井美代子*・林雄介・平嶋宗（2014）「Kit-Build 概念マップを用いた FD」2014 年度人工知能学会全国大会（第 28 回）
12. 前田啓輔・林雄介・宇井美代子*・茅島路子・平嶋宗（2014）「大学講義における情報伝達と受講者の知識変容の Kit-build マップによる分析」2014 年度人工知能学会全国大会（第 28 回）

発表（ポスター）

1. 茅島路子・宇井美代子*・林雄介・平嶋宗（2014）「概念マップを用いた授業内容の伝達状況把握とそれに基づく大学教員の授業リフレクション」教育システム情報学会（JSiSE）2014 年度第 2 回研究会
2. 宇井美代子*・宮前淳子・竹澤みどり・寺島 瞳・松井めぐみ（2014）「デート DV の実態の検討(9) —恋人との関係における否定的側面の男女差—」日本心理学会第 78 回大会
3. 松井めぐみ・寺島瞳・竹澤みどり・宮前淳子・宇井美代子*（2014）「デート DV の実態の検討(10) —恋人との関係における否定的行為の理由推測の男女差—」日本心理学会第 78 回大会
4. 宇井美代子*・茅島路子・林雄介・平嶋宗（2014）「Kit-Build 方式による概念マップと学習方略の関連」日本教育心理学会第 56 回総会
5. 茅島路子・宇井美代子*・前田啓輔・林雄介・平嶋宗（2014）「大学教員の授業リフレクションを促進する概念マップの活用」第 21 回大学教育研究フォーラム

心の教育実践センター

論文・解説・図書など

1. 難波克己, 村井伸二 (2014) 「チームビルディングの手法, アドベンチャープログラムで組織と個を変える」サッカークリニック 2015年1月号
2. 難波克己 (2014) 「アドベンチャー教育から見たチームビルディング」コーチング・クリニック 2015年4月号
3. 難波克己 (2014) 「人事よ、ススメ！—先進的な企業の「学び」を描くラーニングイノベーション論の12講」中原淳 編著 発行 碩学舎
4. 川本和孝 (2014) 「新しい時代の特別活動 個が生きる集団活動を創造する (図書紹介)」日本特別活動学会紀要 第22号
5. 川本和孝 (2014) 「小学生対象『特別活動の社会性獲得に関する調査』結果と課題」日本特別活動学会第23回大会課題研究発表用資料
6. 川本和孝 (2014) 「特別活動の社会性獲得に関する調査 (小学生対象) 調査報告書」日本特別活動学会研究開発委員
7. 川本和孝 (2014) 「学級活動における『解決を必要としない話し合い』の重要性」日本特別活動学会 研究開発委員会 平成25年度研究推進報告
8. 川本和孝 (2015) 「小学校特別活動における自治観の歴史的変遷からみた学級活動の課題 —話し合い活動を中心として—」教育実践学研究第16号

学会・研究会発表

1. 村井伸二 (2014) 「自然体験活動を体験学習として取り組むためには～活動における支援に着目して～」日本野外教育学会第17回学会大会
2. 村井伸二 (2014) 「海洋活動における体験学習アプローチの提案」第3回日本海洋人間学会
3. 難波克己, 村井伸二 (2014) 「Adventure based approach for an innovative team building pursue」第7回アジア南太平洋国際スポーツ心理学会大会
4. 川本和孝 (2014) 「小学生対象『特別活動の社会性獲得に関する調査』結果と課題」日本特別活動学会第23回大会
5. 川本和孝 (2014) 「学級活動のファシリテーション」愛媛大学教育学部附属教育実践総合センター・愛媛集団学習研究協議会共催「夏の学習会」
6. 川本和孝 (2014) 「子どもを取り巻く諸問題と学級活動」教育実践研究会

講演・講義・セミナー

1. 難波克己 (2014) 人間関係づくり実践講座Ⅱ「心の冒険教育の実際について」高知県心の教育センター
2. 難波克己 (2014) 心理療育セミナー 大分こども発達支援センター
3. 川本和孝 (2014) 関東学院六浦小学校教員研修会「学級活動における体験学習法の活用」心の教育実践センター
4. 川本和孝 (2014) 日本特別活動学会研究開発委員会 大学教職課程における特別活動の講座に関するラウンド・テーブル「講座の課題と担当者のポリシー的な立場から」武蔵野大学
5. 川本和孝 (2014) 平成26年度泊江市初任者教員夏季研修会「特別活動における振り返りの重要性—tapを通じて—」心の教育実践センター
6. 川本和孝 (2014) 平成26年度横浜市教育課程研究委員会 特別活動専門部会研究協議会「指導と評価の一体化を図る授業実践—子どもがよりよい生活や人間関係を築くための指導と評価の在り方—」東戸塚小学校
7. 川本和孝 (2014) 平成26年度町田市若手教員育成研修「子供たちの生活作りと特別活動—tapを活用して—」心の教育実践センター
8. 川本和孝 (2014) 平成26年度多摩市小学校教育研究会特別活動部「学校行事における体験学習法 (tap) の関連」

心の教育実践センター

9. 川本和孝 (2015) 新潟県特別活動研究会「新潟県の特別活動の実践について」. ジョイアス新潟会館

教育研究実践

1. 村井伸二 (2014) 千代田区立神田一橋中学校軽井沢移動教室. 千代田区立軽井沢少年自然の家
2. 難波克己 (2014) 聖園学園短期大学初年次教育. 聖園学園短期大学
3. 難波克己 (2014) 聖園学園短期大学キャリア教育. 聖園学園短期大学
4. 難波克己 (2014) 吉祥女子中学高等学校教員研修. 心の教育実践センター
5. 難波克己 (2014) 第5期「さがみ風っ子教師塾」. 相模原市立総合学習センター
6. 難波克己 (2014) 高知県香美市立大柵中学校校内研修. 高知県香美市立大柵中学校
7. 村井伸二 (2014) 高知県高知市立横浜中学校人間関係プログラム. 高知県高知市立横浜中学校
8. 村井伸二 (2014) 大阿蘇ボランティア青少年リーダー塾. 国立阿蘇青少年交流の家
9. 難波克己 (2014) 体験! アドベンチャー教育～経験を通じた学習の実践～. 心の教育実践センター
10. 難波克己 (2014) やまぐちパワーアップセミナー 2014. 山口県セミナーパーク
11. 大山剛 (2014) 海老名市立今泉中学校教員研修. 海老名市立今泉中学校
12. 難波克己 (2014) 人間関係づくり・集団づくりセミナー. 山口県十種ヶ峰青少年自然の家
13. 難波克己 (2014) 青森県八戸市学級づくり研修講座. 八戸市総合教育センター
14. 村井伸二 (2014) 平成26年度心のふれあいキャンプ. 大分県立社会教育総合センター香々地青少年の家
15. 難波克己 (2014) 玉川アドベンチャープログラム体験研修. 心の教育実践センター
16. 村井伸二 (2014) サッカー東京都選抜成人チーム, チームビルディング研修. 心の教育実践センター
17. 白山明秀 (2014) 関東学院六浦小学校教員研修. 心の教育実践センター
18. 村井伸二 (2014) 富山県小・中学校, 高等学校教員研修. とやま健康パーク
19. 白山明秀 (2014) 多摩市立愛和小学校教員研修. 心の教育実践センター
20. 村井伸二・大山剛 (2014) サッカー東京都選抜少年チーム, チームビルディング研修. 心の教育実践センター
21. 村井伸二 (2014) 曹洞宗保育連合会所属保育士研修. 永平寺
22. 難波克己 (2014) 追手門学院大学集中講義. 追手門学院大学
23. 川本和孝・白山明秀 (2014) 平成26年度狛江市初任者教員研修会. 心の教育実践センター
24. 白山明秀 (2014) 海老名市教育委員会体験学習会. 心の教育実践センター
25. 白山明秀 (2014) 平成26年度希望研修「子どもの心をひらく児童生徒指導」. 川崎市総合教育センター
26. 難波克己 (2014) 高知県北川村立北川中学校人間関係づくり校内研修会. 北川村立北川中学校
27. 白山明秀 (2014) 授業力・教育課題研修「小・中学校 特別活動」. 心の教育実践センター
28. 川本和孝・白山明秀 (2014) 町田市新任教員研修. 高尾の森わくわくビレッジ
29. 難波克己 (2014) 人間関係づくり実践講座Ⅱ「心の冒険教育の実践について」. 高知県教育センター
30. 難波克己 (2014) 10年経験者研修講座. 相模原市職員会館
31. 村井伸二 (2014) 高知県高岡郡中土佐町立久礼地区保育士・小・中学校教員研修. 中土佐町立久礼中学校
32. 難波克己 (2014) 高島市立教育研究所「夏季研修講座」. 高島市生涯学習センター
33. 難波克己・村井伸二 (2014) 玉川大学教育学部野外教育演習. カナダブリティッシュコロンビア州
34. 村井伸二 (2014) 平成26年度宮崎県3施設合同教職員研修会. 宮崎県青島青少年自然の家
35. 難波克己 (2014) 伊勢原市立伊勢原中学校教員研修. 伊勢原市立伊勢原中学校
36. 大山剛 (2014) 海老名市立今泉中学校教員研修. 海老名市立今泉中学校
37. 難波克己 (2014) インタラクティブセミナー. 山口県セミナーパーク
38. 白山明秀 (2014) 神奈川県私立幼稚園平成26年度新規採用教員研修. 神奈川県体育センター
39. 白山明秀 (2014) 海老名市小学校教育研究会特別活動部会研修. 海老名市立杉本中学校

40. 白山明秀（2014）川崎市夢教育 21 推進事業川崎市立鷺沼小学校 5 年児童研修. 川崎市立鷺沼小学校
41. 村井伸二（2014）平成 26 年度埼玉県コーディネーター研修. さいたま市民会館うらわ
42. 白山明秀（2014）家庭教育セミナー「アドベンチャー教育のすすめ～人間関係づくりを考える～」. 調布市立第七中学校
43. 村井伸二・永井由美（2014）児童養護施設双葉園プログラム. 心の教育実践センター
44. 村井伸二・永井由美（2014）チャレンジコースのユニバーサルな活用方法における tap 研修. 心の教育実践センター
45. 難波克己（2014）心理療育セミナー. 大分こども発達支援センター
46. 難波克己（2014）東京都中学校ラグビー選抜チーム強化研修. 心の教育実践センター
47. 村井伸二（2014）高知県高知市立横浜中学校人間関係プログラム. 高知市立横浜中学校
48. 難波克己（2015）滋賀県高島市青柳小学校プログラム, 滋賀県高島市立朽木中学校集団作りプログラム, 滋賀県高島市立朽木中学校職員研修. 滋賀県高島市青柳小学校, 滋賀県高島市立朽木中学校
49. 難波克己（2015）平成 26 年度神奈川県初任者特別支援学校教員研修. 神奈川県立総合教育センター
50. 難波克己（2015）平成 26 年度体験学習（AFPY）研修会. 宇部市立上宇部小学校, 下松市地域交流センター
51. 難波克己（2015）平成 26 年度生徒研修心と体を育てるアドベンチャー教育. 高知県立大方高等学校
52. 村井伸二（2015）ふじみ野市放課後子ども教室指導員研修. 総合福祉センター「フクトピア」
53. 川本和孝（2015）座間市立東原小学校 1 年児童 tap 研修. 座間市立東原小学校
54. 川本和孝・白山明秀（2015）川崎市立宮前平小学校 5 年児童リーダー学習体験. 川崎市立宮前平小学校
55. 川本和孝（2015）座間市立東原小学校 1 年児童 tap 研修. 座間市立東原小学校
56. 川本和孝・白山明秀（2015）川崎市立鷺沼小学校 5 年児童リーダー学習体験. 川崎市立鷺沼小学校
57. 大山剛（2015）海老名市立今泉中学校教員研修. 海老名市立今泉中学校
58. 川本和孝・白山明秀（2015）通信教育部学生学習会. 葛西家住宅主屋
59. 川本和孝・白山明秀（2015）多摩市立瓜生小学校 6 年児童 tap 研修. 心の教育実践センター
60. 白山明秀（2015）平成 27 年度川崎市保育士新任職員研修. かわさき保育会館
61. 白山明秀（2015）関東学院六浦小学校教員研修. 心の教育実践センター

企業研修

1. 白山明秀（2014）西本貿易株式会社新入社員研修. 心の教育実践センター
2. 川本和孝・白山明秀（2014）株式会社東京ドームホテル 2015 年度新卒内定者研修. 心の教育実践センター
3. 難波克己・村井伸二（2014）サッカー日本代表 U-16 トレーニングキャンプ. 長野県菅平高原
4. 川本和孝・大山剛（2014）FC 町田ゼルビアチームビルディング研修. 心の教育実践センター
5. 難波克己（2014）博報堂 DY メディアパートナーズ 40 歳研修. 心の教育実践センター
6. 村井伸二・永井由美（2014）キッザニア東京パビリオンマネージャー研修. 心の教育実践センター
7. 川本和孝・白山明秀・大山剛（2015）FC 町田ゼルビアチームビルディング研修. 心の教育実践センター
8. 川本和孝・白山明秀（2015）FC 町田ゼルビアチームビルディング研修. 心の教育実践センター